

(16) 公益財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社経営状況報告書

法人の概要

- 1 名 称 公益財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社
- 2 目 的 天神川流域下水道の維持管理に関する業務を行うとともに、下水道知識の普及・啓発活動及び下水道技術に関する調査研究等を行い、県及び流域関連市町が実施する下水道事業に協力し、もって地域住民の健康で快適な生活環境の向上と公共用水域の水質保全に寄与することを目的とする。
- 3 公益認定年月日 平成24年3月19日
(財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社設立許可年月日
昭和57年8月1日)
- 4 設立登記年月日 平成24年4月1日
(財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社設立登記年月日
昭和57年8月7日)
- 5 基 本 財 産 出えん金 3,000,000円
鳥取県出えん金 1,500,000円
倉吉市出えん金 500,000円
湯梨浜町出えん金 500,000円
三朝町出えん金 250,000円
北栄町出えん金 250,000円
- 6 役 員 等 評 議 員 5人 理 事 6人 監 事 2人
評 議 員 青 木 由紀子 (湯梨浜町商工会女性部長)
〃 佐々木 敬 宗 (倉吉商工会議所専務理事)
〃 広 田 一 恭 (倉吉市長)
〃 羽根田 真 弓 (学校法人藤田学院鳥取短期大学教授)
〃 遠 藤 淳 (鳥取県生活環境部くらしの安心局長)
理 事 長 田 村 満 男
常務理事 田 村 満 男 (理事長兼務)
理 事 官 脇 正 道 (湯梨浜町長)

理 事 松 浦 弘 幸 (三朝町長)

〃 手 嶋 俊 樹 (北栄町長)

〃 中 江 亜紀子 (有限会社中江組代表取締役)

〃 谷 口 正 一 (鳥取県生活環境部くらしの安心局水環
境保全課長)

監 事 木 天 昌 明 (税理士)

〃 植 原 徳 彦 (行政書士)

7 職 員 7人

8 事 務 所 東伯郡湯梨浜町はわい長瀬1517番地

令和3年度事業実施状況

天神川流域下水道の維持管理及び運營業務を行う指定管理者（令和元年度～令和5年度）として、天神浄化センター（終末処理場）の運転管理を適正かつ効率的に行い、良好で安定的な下水処理の確保を図るとともに、設備機器類等の下水道施設の適切な維持管理を行うことで、持続的な下水道機能の確保に取り組んだ。

また、水質分析及び下水道知識の普及・啓発等の事業を実施するとともに、中期経営計画に基づき継続的な業務改善と効果的・効率的な管理運営の推進並びに一層の経費の縮減に取り組んだ。

令和3年度決算額は、454,573千円であり、主要機器の分解整備（オーバーホール）工事など予防保全的修繕を着実に実施するとともに、効率的な管理運営により経費の縮減に取り組んだが、電力料金の燃料費調整単価が原油価格高騰により大幅に増加したことで、前年度比4%の増加となった。

この結果、令和3年度の指定管理料は、県との協定額に比べて41,569千円の減額となった。

1 天神川流域下水道の管理運營業務

(1) 天神浄化センターの運転管理、水質管理業務等

天神浄化センターの流入汚水に対して、水処理施設、汚泥処理施設等の運転管理を適正かつ効率的に行い、常に良好な状況を保持し下水道機能の確保を図るとともに、年間を通じて良好で安定的な下水処理を実施することができた。脱水汚泥は全量処分委託により堆肥等にして有効活用を図った。

流入汚水量は年間7,336千 m^3 （日平均20,101 m^3 ）で前年度比0.7%の増加となり、脱水汚泥は年間4,520トで前年度比4.9%の減少、使用電力量は4,376千kwhで前年度比7.2%の減少となった。

また、汚水処理原価（指定管理料÷年間流入汚水量）は、61.9円/ m^3 となった。

[水処理及び汚泥処理の状況]

① 流入汚水量

年間計画流入水量7,180,280 m^3 （日平均19,672 m^3 ）に対し、実績は次のとおりであった。

日平均	20,101 m^3
年間合計	7,336,816 m^3

② 水処理の状況

放流水の水質基準を十分に達成した。

項目	流入下水	放流水	放流水の水質基準 (下水道法)	水質除去率
BOD (mg/l)	120	4.9	15	96%
浮遊物質(SS) (mg/l)	87	2.0	40	98%

※BOD=生物化学的酸素要求量

(2) 施設の維持管理業務

天神浄化センターの日々の運転操作・監視及び保守点検を外部委託で実施するとともに、設備機器類の定期的な点検調整と必要な部品交換や修繕工事、そしてベルト型ろ過濃縮機、3号主ポンプ、若土ポンプ場ポンプの計画的な分解整備や1、2号返送汚泥ポンプ修繕工事、沈砂池2号し渣搬出機他修繕工事等の予防保全的修繕を実施し、故障・事故の未然防止と低減及び施設の機能保全に取り組んだ。

また、若土ポンプ場施設や市町処理分区の流量計測設備（23箇所）等の維持管理、幹線管路施設の巡回点検等を実施した。

2 下水道の水質分析等

令和3年度水質試験計画により、天神浄化センターへ流入する汚水、放流水、市町処理分区の接続点の汚水及び汚泥等の分析を公社が直営で実施し、ダイレクトに現場へ反映させることにより、適正かつ効率的な運転管理に取り組んだ。

水質試験回数	408回
検体数	20,894検体

3 下水道技術者の養成

公社職員の資質及び技術の向上を図るため、技術研修会、講習会等に参加した。

4 下水道技術の調査研究

下水道研究発表会（ライブ配信）に参加して、下水道に関連する技術や下水道経営などに関する日頃の研究成果や実務事例等を聴講した。また、毎月1回水処理・汚泥処理等検討会として、適切かつ効率的な管理運営、業務改善等の調査研究を実施した。

5 下水道知識の普及及び啓発等

(1) ホームページでの公社の財務状況、水処理状況、催しの案内等を随時掲載した。

(2) 下水道についての理解と普及促進を図るための取組

ア ぐるり水の探険

毎年、中部地区の小学生親子を対象に、東郷ダム、倉吉市水道局円谷町水源池、天神浄化センターの施設見学、水質検査の体験等を行っていたが、令和3年度も新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、開催を中止した。

イ 第33回下水道コンクール

中部地区の小学校4年生の児童を対象に下水道に関する絵画・ポスター、習字、標語の作品を募集した。審査会を実施して、優秀作品には表彰状を授与した。

入賞作品：ポスター8点、習字14点、標語10点

応募作品数：令和2年度より36%の増加

	絵画・ポスター	習字	標語	計
令和3年度作品数	83	643	177	903
令和2年度作品数	11	567	85	663

開催日：審査会9月14日、表彰式10月8日（倉吉未来中心）、

展示会10月6日～13日（倉吉交流プラザ）

ウ 下水道ふれあい教室

小学校に職員が出向き、環境教育の一環として下水道の仕組み、微生物の説明、顕微鏡観察、水質検査等の授業を6月に3校において実施した。

実施校：小鴨小学校、大栄小学校、聖郷小学校

エ 施設見学者への対応

新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら、見学者の受入れを行った。昨年度は、新型コロナウイルス感染症のため見学を控える小学校が多かったが、今年度は班分けなど見学者側と受入側の双方が対策を講じたことから、小学生の見学者が大幅に増加した。

天神浄化センターへの見学者数は、次のとおり。

年度	総数	内 訳		
		一般	学校関係	官公庁職員
令和3年度	582人	7人	575人	0人
令和2年度	251人	19人	222人	10人

6 中期経営計画の取組

今年度を初年度とする中期経営計画 2021（令和3年度～令和6年度）に基づき、適正かつ効果的な下水処理施設の維持管理を行うとともに、継続的な業務内容の点検・見直し及び管理運営の一層の効率化の推進に取り組んだ。

(1) 水処理・汚泥処理等検討会の開催と継続的な業務改善

毎月1回のペースで水処理・汚泥処理等検討会を開催し、業務の充実・改善と適切かつ効率的な管理運営の調査検討に取り組んだ。

- ・中期経営計画（平成29年度～令和2年度）の事後評価について
- ・令和3年7月豪雨の検証と今後の対応について
- ・天神浄化センターに関する今後の取組について
- ・中期経営計画 2021 の評価について 等

(2) 管理運営の効率化

放流水質の維持並びに施設の機能・性能の確保との両立を前提として、現場主義で管理運営の一層の効率化に取り組んだ。

ア エネルギー管理の徹底

電力使用量の低減（水中攪拌機の間欠運転、前ばっ気風量の半減見直し、デマンド管理等）（▲7.2%）

イ 脱水汚泥の発生、処理量の削減

含水率の低減が一層可能となるように含水率の管理を徹底し、脱水汚泥発生量を抑制（▲4.9%）

ウ 維持管理の効率化

3号主ポンプ、ベルト型ろ過濃縮機等の分解整備を実施し、予防保全型の修繕に努めた。

また、吸排気ダクトの風量調整ダンパーの修繕を行い、吸排気ファンの動力負荷の軽減と最適な風量調整機能を確保した。

7 その他

(1) 異常流入水

ア 年月日 令和3年7月7日（水）～8日（木）

イ 原因 梅雨前線豪雨（倉吉の2日間累計雨量 384mm）

ウ 流入水量 7月7日 日平均：77,168 m³/日、時間最大：6,450 m³/時

エ 運転概要

- ・流入汚水量が主ポンプの最大揚水能力 3,990 m³/時を超え、さらに増加すると予想されたことから、処理施設の被災による機能停止を回避するため、着水井流入ゲートの開度を段階的に絞り、流入汚水量を調整しながら処理を行った。
- ・流入ゲート操作時に沈砂池にわずかな溢水が発生したが運転に支障はなかった。
- ・主ポンプの揚水能力を超えた汚水は沈砂池及び下水管渠内に一時貯留された。
- ・水処理は通常処理を実施し、放流水質も問題はなかった。

- (2) 全国下水道公社連絡協議会、中国四国下水道公社連絡協議会
- ・ 第 43 回全国下水道公社連絡協議会（書面による開催（一部オンラインによる講演））
 - ・ 第 27 回中国四国下水道公社連絡協議会（書面による開催）
- (3) 人権教育の研修会
- 次のとおり公社で開催した。
- ・ 職場内人権推進員研修 新型コロナウイルス感染症の防止のため、オンラインによる講演を受講した。
 - ・ 職場内人権研修会 2月24日
- (4) 防災訓練等
- 消防計画に基づき、火災訓練のほか、総合訓練として地震、その他の災害を想定した訓練を実施した。
- ・ 消防訓練 6月29日
 - ・ 総合訓練 10月27日（異常流入水を想定した訓練）
- (5) 維持管理年報の作成
- 令和2年度維持管理年報を令和3年8月に作成した。
- (6) 新型コロナウイルス感染症対策
- 鳥取県新型コロナ対策認証事業所として、新型コロナウイルス感染症に対する対策マニュアルに基づき、感染対策の徹底をするとともに「県境をまたぐ移動の取扱について」を定めて感染防止に努めた。

正味財産増減計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
	円	円	円	
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	60	300	△ 240	
基本財産受取利息	60	300	△ 240	
事業収益	454,572,993	436,093,597	18,479,396	
天神川流域下水道維 持管理受託事業収益	454,572,993	436,093,597	18,479,396	
雑収益	164	133	31	
受取利息	164	133	31	
雑収益	0	0	0	
経常収益計	454,573,217	436,094,030	18,479,187	
(2) 経常費用				
事業費	439,616,649	421,220,639	18,396,010	
役員報酬	3,874,140	3,917,932	△ 43,792	
給料手当	28,280,819	28,029,725	251,094	
退職給付掛金	1,692,000	1,692,000	0	
福利厚生費	5,195,881	5,302,717	△ 106,836	
会議費	0	0	0	
旅費交通費	0	143,280	△ 143,280	
通信運搬費	352,654	352,662	△ 8	
消耗品費	20,056,265	16,882,424	3,173,841	
修繕費	85,609,189	73,309,289	12,299,900	
印刷製本費	472,516	382,800	89,716	
燃料費	548,302	773,988	△ 225,686	
光熱水料費	77,290,818	66,982,933	10,307,885	
賃借料	1,536,847	622,592	914,255	
保険料	50,570	74,090	△ 23,520	
手数料	111,636	115,270	△ 3,634	
租税公課	4,766,901	4,739,715	27,186	
委託費	209,745,311	217,789,922	△ 8,044,611	
負担金	32,800	109,300	△ 76,500	
管理費	14,803,709	14,663,379	140,330	
役員報酬	968,536	979,858	△ 11,322	
給料手当	7,277,221	7,058,496	218,725	
退職給付掛金	468,000	468,000	0	

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
	円	円	円	
福利厚生費	1,329,981	1,312,464	17,517	
会議費	0	0	0	
旅費交通費	24,320	22,680	1,640	
通信運搬費	268,231	259,903	8,328	
消耗品費	709,722	719,870	△ 10,148	
修繕費	57,464	86,222	△ 28,758	
印刷製本費	70,455	60,225	10,230	
燃料費	167,892	194,904	△ 27,012	
光熱水料費	667,108	583,540	83,568	
賃借料	372,850	336,898	35,952	
保険料	59,270	60,040	△ 770	
諸謝金	232,600	211,600	21,000	
手数料	132,400	127,469	4,931	
租税公課	328,099	286,985	41,114	
委託費	1,511,400	1,643,400	△ 132,000	
負担金	158,160	250,825	△ 92,665	
経常費用計	454,420,358	435,884,018	18,536,340	
当期経常増減額	152,859	210,012	△ 57,153	
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	152,859	210,012	△ 57,153	
一般正味財産期首残高	1,355,955	1,145,943	210,012	
一般正味財産期末残高	1,508,814	1,355,955	152,859	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000	0	
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000	0	
III 正味財産期末残高	4,508,814	4,355,955	152,859	

正味財産増減計算書内訳表

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
	円	円	円	円
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	60			60
基本財産受取利息	60			60
事業収益	439,773,397	14,799,596		454,572,993
天神川流域下水道維 持管理受託事業収益	439,773,397	14,799,596		454,572,993
雑収益	164			164
受取利息	164			164
雑収益	0			0
経常収益計	439,773,621	14,799,596	0	454,573,217
(2) 経常費用				
事業費	439,616,649			439,616,649
役員報酬	3,874,140			3,874,140
給料手当	28,280,819			28,280,819
退職給付掛金	1,692,000			1,692,000
福利厚生費	5,195,881			5,195,881
会議費	0			0
旅費交通費	0			0
通信運搬費	352,654			352,654
消耗品費	20,056,265			20,056,265
修繕費	85,609,189			85,609,189
印刷製本費	472,516			472,516
燃料費	548,302			548,302
光熱水料費	77,290,818			77,290,818
賃借料	1,536,847			1,536,847
保険料	50,570			50,570
手数料	111,636			111,636
租税公課	4,766,901			4,766,901
委託費	209,745,311			209,745,311
負担金	32,800			32,800
管理費		14,803,709		14,803,709
役員報酬		968,536		968,536
給料手当		7,277,221		7,277,221
退職給付掛金		468,000		468,000

(16) 公益財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
	円	円	円	円
福利厚生費		1,329,981		1,329,981
会議費		0		0
旅費交通費		24,320		24,320
通信運搬費		268,231		268,231
消耗品費		709,722		709,722
修繕費		57,464		57,464
印刷製本費		70,455		70,455
燃料費		167,892		167,892
光熱水料費		667,108		667,108
賃借料		372,850		372,850
保険料		59,270		59,270
諸謝金		232,600		232,600
手数料		132,400		132,400
租税公課		328,099		328,099
委託費		1,511,400		1,511,400
負担金		158,160		158,160
経常費用計	439,616,649	14,803,709	0	454,420,358
当期経常増減額	156,972	△ 4,113	0	152,859
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	156,972	△ 4,113	0	152,859
一般正味財産期首残高	1,330,647	25,308	0	1,355,955
一般正味財産期末残高	1,487,619	21,195	0	1,508,814
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,000,000	0	0	3,000,000
指定正味財産期末残高	3,000,000	0	0	3,000,000
III 正味財産期末残高	4,487,619	21,195	0	4,508,814

貸借対照表

(令和4年3月31日現在)

科 目	当年度	前年度	増減
	円	円	円
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
普通預金	31,281,341	28,872,916	2,408,425
未収金	0	35,291	△ 35,291
貯蔵品	1,508,814	1,355,955	152,859
流動資産合計	32,790,155	30,264,162	2,525,993
2 固定資産			
(1)基本財産			
定期預金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
固定資産合計	3,000,000	3,000,000	0
資産合計	35,790,155	33,264,162	2,525,993
II 負債の部			
1 流動負債			
預り金	367,230	147,084	220,146
仮受金	0	0	0
未払金	30,914,111	28,761,123	2,152,988
流動負債合計	31,281,341	28,908,207	2,373,134
2 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	31,281,341	28,908,207	2,373,134
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
指定正味財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(3,000,000)	(3,000,000)	(0)
2 一般正味財産			
一般正味財産	1,508,814	1,355,955	152,859
正味財産合計	4,508,814	4,355,955	152,859
負債及び正味財産合計	35,790,155	33,264,162	2,525,993

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記
継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事業又は状況はない。
2. 重要な会計方針
 - (1) 平成20年公益法人会計基準（平成20年4月11日 平成21年10月16日改正内閣府公益認定等委員会）を適用している。
 - (2) 棚卸資産（貯蔵品）について
棚卸資産の評価基準は取得原価基準とし、評価方法は最終仕入原価法を採用している。
 - (3) 消費税の会計処理について
消費税の会計処理は、税込方式によっている。
3. 会計方針の変更
該当なし
4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高
基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産 定期預金	3,000,000	0	0	3,000,000
合 計	3,000,000	0	0	3,000,000

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳
基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産 定期預金	3,000,000	(3,000,000)	(0)	—
合 計	3,000,000	(3,000,000)	(0)	0

6. 担保に供している資産
該当なし
7. 固定資産の所得価額、減価償却累計額及び当期末残高
該当なし
8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高
該当なし
9. 保証債務（債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務
該当なし
10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
該当なし
11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
該当なし

1 2. 指定正味財産からの一般正味財産への振替額の内訳

該当なし

1 3. 関連当事者との取引の内容

該当なし

1 4. 重要な後発事象

該当なし

1 5. その他資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産増減の状況を明らかにするために必要な事項

(単位：円)

品名	当期末残高
業務用薬品	668,527
材料	13,471
自家用発電設備燃料	805,621
切手、収入印紙	21,195
合計	1,508,814

財 産 目 録

(令和4年3月31日現在)

貸借対象表科目	場所・物量等	使用目的	金額
(流動資産)			円
現金預金	普通預金 山陰合同銀行 羽合支店	運転資金として	31,281,341
貯蔵品	業務用薬品（高分子凝集剤、次亜塩素酸ソーダ、苛性ソーダ他） 材料（ろ過砂） A重油 切手、収入印紙	運転管理等に伴う年度末の在庫として 砂ろ過設備の材料として 自家用発電設備燃料として 郵送、契約書用として	668,527 13,471 805,621 21,195
流動資産合計			32,790,155
(固定資産)			
基本財産			
定期預金	定期預金 山陰合同銀行羽合支店	公益目的保有財産で運用益を公益目的事業の財源として使用している	3,000,000
その他固定資産			0
固定資産合計			3,000,000
資産合計			35,790,155
(流動負債)			
未払金	鳥取県に対する未払額他	鳥取県に対する指定管理料返納金未払他	30,914,111
預り金	源泉徴収所得税他	源泉所得税、住民税預り金	367,230
流動負債合計			31,281,341
(固定負債)			0
固定負債合計			0
負債合計			31,281,341
正味財産			4,508,814

附属明細書

- 1 基本財産及び特定資産の明細
基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高に記載のとおりである。

令和4年度事業計画

I 基本方針

当社は、天神川流域下水道の維持管理及び運營業務を行う指定管理者（令和元年度～5年度）として、天神浄化センター（終末処理場）の運転管理、設備管理、水質分析及び下水道知識の普及・啓発等の事業を適切に遂行するとともに、継続的な業務改善と更なる事業経営の効率化に取り組むことにより、下水道事業を取り巻く社会情勢の変化や地域のニーズ等に対応できる公益法人を目指していく。

現指定管理期間の4年目となる令和4年度は、次の管理運営の方針に基づくとともに、引き続き中期経営計画の推進により、水処理施設、汚泥処理施設等の運転管理、水質管理と施設の維持管理をより適切かつ効率的に遂行する。

【管理運営方針】

- (1) 良好かつ効果的な下水処理を確保すること
- (2) 適切な維持管理による持続的な下水道機能を確保すること
- (3) 継続的な業務改善と管理運営の効率化を進めること
- (4) 下水道技術の普及及び啓発等の充実に努めること
- (5) 下水道技術の継承と技術力向上を図ること
- (6) 連携協力と信頼性を確保すること

II 事業内容

1. 天神川流域下水道の管理運營業務【481,394千円】

(1) 天神浄化センター運転管理、水質管理等業務

- 天神浄化センターの水処理施設、汚泥処理施設の運転管理、水質管理を効率的かつ継続的に実施し、常に良好で安定した水質の確保及び汚泥処理の最適化と有効活用を推進する。
- 流入汚水の量的質的变化や水質試験結果等をダイレクトに反映させながら、水処理悪化等に対する迅速な対応と放流水質管理目標の確保とともに、下水道機能の維持を図る。
- 日々の運転操作・監視及び保守点検等は外部委託で実施しており、相互連携の下で天神浄化センターの適切な運転管理及び水質管理に取り組む。

・計画流入汚水量

令和4年度	令和3年度実績
7,231,000m ³ （日平均19,811m ³ ）	7,336,816m ³ （日平均20,101m ³ ）

・放流水質管理目標（年間最大値）

BOD (mg/ℓ)	SS (mg/ℓ)	大腸菌群数 (個/cm ³)
10未満	10未満	30未満

・計画汚泥処理量

令和4年度	令和3年度実績
4,800t	4,520.8t

(2) 施設の維持管理業務

- 設備機器類に精通した専門技術者の蓄積されたノウハウ等を活かし、定期的な点検調整と必要な部品交換や修繕工事、そして計画的な分解整備（オーバーホール）等による予防保全的修繕を実施するなど、機能保全措置により故障の未然防止と施設の長寿命化を図る。
- エネルギー管理の徹底、脱水汚泥発生量の削減、部品交換・修繕工事等の合理化・効率化など継続的な業務改善と維持管理の効率化に取り組む。

・維持管理施設

対象施設	<ul style="list-style-type: none"> ・天神浄化センター（処理能力 32,000m³/日） ・幹線管渠（28.6 km）及び放流管渠 ・処理分区流量計測設備（23 箇所） ・若土ポンプ場
------	--

・予防保全的修繕【62,496 千円】

①主要機器類の分解整備

2号送風機、ケーキ貯留サイロ

②臨時的修繕

送風機棟無停電電源装置、返送汚泥ポンプ、混合汚泥ポンプ、非常用照明器具

・事後対応修繕【4,400 千円】

修繕費枠予算

2. 下水道の水質分析等【2,000 千円】

○処理場へ流入する汚水、放流水、各処理分区接続点の汚水及び汚泥等の水質管理を行い、ダイレクトに現場での維持管理へ反映させることで、良好で安定した水質の確保を図る。

3. 下水道技術者の養成【436 千円】

○下水道事業に係る職員の技術研修会を鳥取県及び下水道事業団等と連携して実施する。
○下水道に関する知識、技術の習得、向上を図るため、各種団体が実施する研修会等への積極的な参加等により職員のスキルアップと現場実務への反映を図る。

4. 下水道技術の調査研究【211 千円】

○下水道維持管理コストの縮減、水処理、汚泥処理技術等の改善策、他の処理場の維持管理状況などについて、調査研究を実施する。
○8月に開催される下水道研究発表会（日本下水道協会主催）に参加するなど、下水道技術の情報収集を実施する。

5. 下水道知識の普及及び啓発等【2,010 千円】

○小学生、周辺住民、一般見学者等に対して、下水道の役割、効果、下水処理場の仕組み等の説明と施設見学を実施する。
○ホームページを充実するために内容をリニューアルして、分かりやすく、見やすい下水道に関する情報を掲載して、啓発を実施する。
○水の循環をテーマとし、下水道が環境に果たす役割の理解を深めることを目的として、ダム、水道水源地、天神浄化センターを見学する「ぐるり水の探検」を開催する。
○「下水道コンクール」として、中部地区の小学校4年生の児童を対象に、絵画・ポスター、習字、標語の作品を募集し、審査会を経て優秀作品を表彰する。
○「下水道ふれあい教室」として、職員が小学校へ出向いて、環境教育の一環として下水道の仕組み、水質検査等の授業を実施する。
○令和5年度には供用開始40年を迎えることから、下水道の広報活動を積極的に行うため、天神浄化センターの愛称・ロゴマーク募集、記念事業の準備を実施する。

6. その他公社の目的を達成するために必要な事業

収 支 予 算 書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
	千円	千円	千円	
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	1	1	0	
基本財産受取利息	1	1	0	
事業収益	486,047	471,192	14,855	
天神川流域下水道維 持管理受託事業収益	486,047	471,192	14,855	
雑収益	3	3	0	
受取利息	3	3	0	
経常収益計	486,051	471,196	14,855	
(2) 経常費用				
事業費	468,613	455,237	13,376	
役員報酬	3,924	4,129	△ 205	
給料手当	28,436	29,194	△ 758	
退職給付掛金	1,692	1,692	0	
福利厚生費	5,536	5,555	△ 19	
会議費	10	10	0	
旅費交通費	429	378	51	
通信運搬費	357	357	0	
消耗品費	18,326	20,130	△ 1,804	
修繕費	66,966	88,317	△ 21,351	
印刷製本費	765	474	291	
燃料費	1,280	1,096	184	
光熱水料費	105,699	80,444	25,255	
賃借料	1,444	1,545	△ 101	
保険料	73	73	0	
手数料	128	129	△ 1	
租税公課	5,034	5,025	9	
委託費	228,296	216,471	11,825	
負担金	218	218	0	
管理費	17,438	15,959	1,479	
役員報酬	981	1,032	△ 51	
給料手当	7,543	7,427	116	
退職給付掛金	468	468	0	

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
	千円	千円	千円	
福利厚生費	1,457	1,415	42	
会議費	10	10	0	
旅費交通費	405	384	21	
通信運搬費	309	309	0	
消耗品費	907	835	72	
修繕費	110	85	25	
印刷製本費	111	111	0	
燃料費	210	192	18	
光熱水料費	894	698	196	
賃借料	677	392	285	
保険料	64	64	0	
諸謝金	313	313	0	
手数料	162	156	6	
租税公課	330	323	7	
委託費	2,254	1,512	742	
負担金	233	233	0	
経常費用計	486,051	471,196	14,855	
当期経常増減額	0	0	0	
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高	1,100	1,000	100	貯蔵品期首残高
一般正味財産期末残高	1,100	1,000	100	貯蔵品期末残高
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	3,000	3,000	0	
指定正味財産期末残高	3,000	3,000	0	
III 正味財産期末残高	4,100	4,000	100	

収 支 予 算 書 内 訳 表

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
	千円	千円	千円	千円
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	1			1
基本財産受取利息	1			1
事業収益	468,609	17,438		486,047
天神川流域下水道維 持管理受託事業収益	468,609	17,438		486,047
雑収益	3			3
受取利息	3			3
経常収益計	468,613	17,438	0	486,051
(2) 経常費用				
事業費	468,613			468,613
役員報酬	3,924			3,924
給料手当	28,436			28,436
退職給付掛金	1,692			1,692
福利厚生費	5,536			5,536
会議費	10			10
旅費交通費	429			429
通信運搬費	357			357
消耗品費	18,326			18,326
修繕費	66,966			66,966
印刷製本費	765			765
燃料費	1,280			1,280
光熱水料費	105,699			105,699
賃借料	1,444			1,444
保険料	73			73
手数料	128			128
租税公課	5,034			5,034
委託費	228,296			228,296
負担金	218			218
管理費		17,438		17,438
役員報酬		981		981
給料手当		7,543		7,543
退職給付掛金		468		468

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
	千円	千円	千円	千円
福利厚生費		1,457		1,457
会議費		10		10
旅費交通費		405		405
通信運搬費		309		309
消耗品費		907		907
修繕費		110		110
印刷製本費		111		111
燃料費		210		210
光熱水料費		894		894
賃借料		677		677
保険料		64		64
諸謝金		313		313
手数料		162		162
租税公課		330		330
委託費		2,254		2,254
負担金		233		233
経常費用計	468,613	17,438	0	486,051
当期経常増減額	0	0	0	0
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額				0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0
一般正味財産期首残高	1,070	30	0	1,100
一般正味財産期末残高	1,070	30	0	1,100
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	3,000	0	3,000
指定正味財産期末残高	0	3,000	0	3,000
III 正味財産期末残高	1,070	3,030	0	4,100